

愛媛県久万高原町で採集されたギギ

清水孝昭¹・矢野真志²

¹ 愛媛県農林水産研究所水産研究センター

² 面河山岳博物館



写真1 *Tachysurus nudiceps* ギギ (TKPM-P 27558, 208.3mm SL)

種の記録

Bagridae ギギ科

Tachysurus nudiceps (Sauvage 1883) ギギ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P)27588, 2個体, 標準体長(SL)208.3–217.3mm, 2026年8月6日, 愛媛県久万高原町上黒岩 仁淀川水系久万川(33.618682N, 132.9639473E), 投網。

種の特徴

体はやや細長く、頭部は縦扁し、体後部にかけて側扁する。吻端は丸みを帯び、吻の上下に各2対のひげがある。口蓋歯がある。脂鰭は尾鰭と不連続。尾鰭は深く2叉する。尾柄高は体長の7.8–8.1%。臀鰭18軟条。生時の体色は黄褐色で、頭部、背部、体側前半、各鰭は暗色味を帯びる。

備考

標本個体はいずれも捕獲時に網に絡まった胸鰭が除去されていたが、上記諸特徴が細谷(2013)のギギと一致したため本種と同定された。本種は国内では琵琶湖・淀川水系以西の本州、四国の吉野川、九州北東部に在来分布する(細谷, 2013)。愛媛県では吉野川上流にあたる銅山川に在来分布するほか、移入種として国領川、金生川、肱川などから知られている(伊藤, 1988; 高橋, 2014)。仁淀川では高知県側で移入種として古くから記録があるが、上流に位置する愛媛県側では明らかな記録が見られず(伊藤ほか, 1972; 伊藤, 1985; 環境庁, 1987, 高橋, 2014; 国土交通省河川水辺の国勢調査河川環境データベースシステム, <https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/index.html>; 2026年8月8日参照), 本報告が標本を基にした初記録となる。聞き取りによれば10年ほど前から面河川と久万川の合流点から久万川中流にかけて広く

稚魚, 成魚が確認されており, 近年愛媛県側でも分布が広がってきている可能性がある。

謝辞

標本を提供いただいた安宅孝輔氏に感謝の意を表する。

引用文献

- 細谷和海. 2013. ギギ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索全種の同定, 第三版, 海大学出版会, 秦野. 335, 1822–1823.
- 伊藤猛夫. 1985. 仁淀川—その自然と魚たち—開発の中に生きるようす—. 仁淀川水系河川生態研究会・仁淀川漁業協同組合. 260pp.
- 伊藤猛夫. 1988. 銅山川の魚類を中心とした河川生態とダム建設の影響予測. 銅山川上流水産資源調査会. 135pp.
- 伊藤猛夫・水野信彦・和田 正. 1972. 面河川水系の河川環境・魚類・漁業実態について. 面河川水産資源調査会. 121pp+図版IV.
- 環境庁自然保護局. 1987. 第3回自然環境保全基礎調査河川調査報告書 四国版. 環境庁. 56+22+63+88+37pp.
- 高橋弘明. 2014. ギギ. 愛媛県レッドデータブック改訂委員会(編). 愛媛県レッドデータブック 2014—愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物—. 愛媛県県民環境部環境局自然保護課, 松山. 122.

(2026年9月4日受付, 2026年9月6日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu and Shinji Yano. 2026. Record of *Tachysurus nudiceps* (Bagridae) from Kumakogen Town, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26021)